

第45号



2016. 4月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎029 288 7013 FAX 029 288 7021 ホームページ <http://www.shirosato-syakyo.com>
編集 広報ボランティアグループ



水たまりだ!! ジャンプ!!

子育て支援促進事業
親子でリフレッシュ!!

2月15日(月)常北保健福祉センター研修室にて、子育て支援促進事業の一環で「親子リフレッシュ体操」が行なわれました。

講師は、ひたちなか市在住の古谷久生ふるやひさひ先生です。

先生は、エアロビクスのインストラクターをはじめ、食育アドバイザー、ベビーマッサージの講師等多岐にわたる分野で活躍し、低年齢の子供の体操や小学校の親子レクリエーションの指導をしています。

今回の親子リフレッシュ体操には、15組の親子が参加し、楽しいひとときを過ごしました。

まずは、「はねはねはねちやん」という絵本を使っての体操です。キリン・アヒル・カメなど絵本に登場する動物になりきり、部屋中を動き回りました。

次に、バスになって出掛けましょう。ゴー、ゴーの掛け声で、デコボコ道・水溜り・右カーブ・左カーブをお母さんの膝をバスに見立て、かわいい運転手を乗せて、道に合わせてバスは動きます。デコボコ道や水溜りでは子供達が大喜びでした。

他にも、「お寿司・寿司・寿司」の掛け声に合わせて、酢飯役の子供に、ネタになったお母さんが覆いかぶさったり、海苔になってギューと抱きついたり・・・親子で触れ合いながら体を動かしたり、体幹を鍛えたりと、約1時間体操をしました。

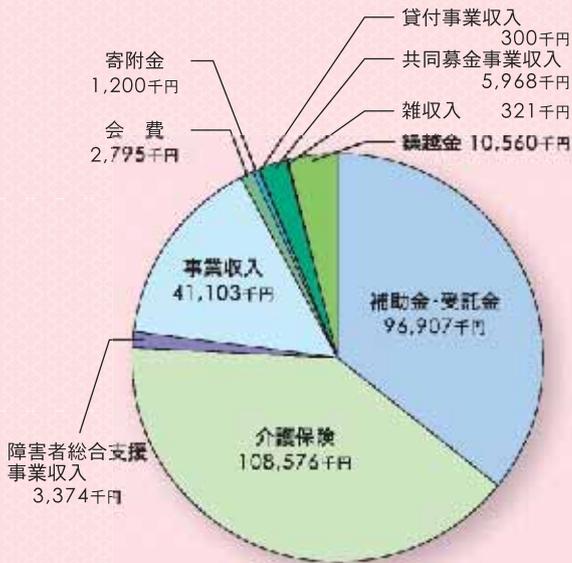
体操の後は、「風の子しりと」という絵本を先生自ら読み聞かせてくれました。帰り時には、子供一人ひとりに風船でできた剣がブレゼントされました。

子供たちもお母さんたちも終始笑顔で、たくさん触れ合い、心身ともにリフレッシュできた様子でした。

社会福祉協議会事業計画・収支予算

収入の部 (単位：千円)

収入 271,104千円

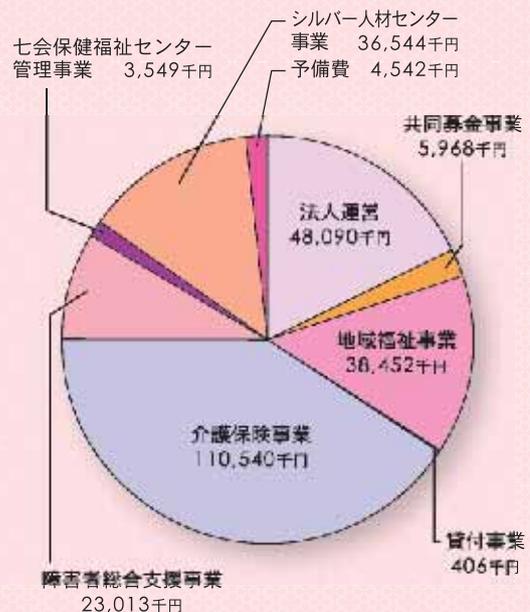


区 分	予算額	説 明
補助金・受託金収入	96,907	町補助金・受託金
介護保険事業収入	108,576	介護報酬収入・利用者負担金収入等
障害者総合支援事業収入	3,374	障害者総合支援費収入等
事業収入	41,103	利用者負担金収入等
会費収入	2,795	世帯会費・特別会員会費収入
寄付金収入	1,200	寄付金収入
貸付事業収入	300	貸付償還金収入
共同募金事業収入	5,968	共同募金配分金収入
雑収入	321	雑入・利息等収入
繰越	10,560	繰越金

支出の部 (単位：千円)

支出 271,104千円

区 分	予算額	説 明
法人運営事業	48,090	法人本部運営
共同募金事業	5,968	広報紙作成・福祉教育・災害援護事業等
地域福祉事業	38,452	地域ケア・ボランティア・配食サービス・デマンド交通事業等
貸付事業	406	生活福祉資金・小口貸付金事業
介護保険事業	110,540	居宅介護支援・訪問介護・訪問入浴・通所介護事業
障害者総合支援事業	23,013	地域活動支援センター・日中一時支援・障害者総合自立支援事業
七会保健福祉センター管理事業	3,549	保健福祉センター管理事業
シルバー人材センター事業	36,544	シルバー人材センター事業
予備費	4,542	予備費



平成28年度 社会福祉法人城里町

基本方針

城里町社会福祉協議会は、地域に根ざしたさまざまな住民参加型の地域福祉活動を推し進めてまいります。さまざまな社会資源とのネットワークを活用し、地域の方々との協働を通じ、「ともに生き、積極的に支えあい、活力ある福祉のまちづくり」の実現をめざし、地域福祉向上と推進に努めることを基本方針といたします。

重点目標

1. 安心して暮らせる地域づくり
地域で幸せに暮らせるために、災害や犯罪などから町民の生活を守るための活動を進めるとともに、地域の防災づくりや支援の必要な人の情報を把握するしくみづくりをめざします。
2. 人がつながる地域づくり
地域のつながりを深めていくとともに、地域で行われているさまざまな活動の活性化を図り、地域のみんなでふれあい、支え合える地域づくりをめざします。
3. 魅力あふれる地域づくり
地域の資源や歴史、豊富な人材をいかした住民参加による地域活動、福祉活動を通して魅力ある地域づくりを進め、広げていく体制作りを進めます。

平成27年度赤い羽根共同募金運動実績報告

赤い羽根募金

募金種別	募金寄附者	金額
戸別募金	5,120戸	3,059,800円
法人募金	155団体・企業	1,001,000円
職域募金	16課・局	24,148円
学校募金	14校	261,464円
その他	個人・団体等	52,406円
合計		4,398,818円

**自治会長はじめ、町民の皆様、
企業・学校・団体関係者の皆様
ご協力ありがとうございました**

歳末募金

募金種別	募金寄附者	金額
戸別募金	5,132戸	2,357,478円
その他	個人・団体等	42,124円
合計		2,399,602円

お預りいたしました募金額は県共同募金会に送金し、助成額決定後、平成28年度当町の地域福祉向上のため活用されます。

きほんと生きる

女性だけの農園を目指して

中山 祐美加さん
大浦 ゆかりさん



中山祐美加さん(右)と大浦ゆかりさん(左)

常北上入野地区に、若い女性が2人で経営している「まつかげ農園」があります。ビニールハウス2棟を含めた約1haの農地に四季折々の作物を栽培、出荷をしています。代表者は、中山祐美加さん(神奈川県出身)。中山さんは短大を卒業後、農業の後継者が居なくなっていることに深い関心を持つようになり、農業を学んだのち、知人の紹介で、平成23年、城里町に農業経営

を目的として移転して来ました。現在は同じ考えを持つ大浦ゆかりさん(東京都出身)と協力しながら農園の運営を行っています。お2人は同じ高校のソフトボール部、中山さんはその時のキャプテンであり、共に青春の汗を流したとのこと。とても爽やかで元気なお2人です。

収穫した作物は、農協、ホルルの湯、水戸市内のスーパーなどに出荷しており、新鮮・甘い・美味しいと評判です。農園を始めた頃は、季節外れの長雨により作物に病気が入り、全滅させてしまった事もありました。現在は、地域の農業仲間と情報交換を行い、失敗のないようにしているそうです。しかし、農作物は1年に1回の栽培であり、満足する

野菜を出荷するのは難しい」と話してありました。

目標は、女性だけの農園」を築き上げることで、作物の無農薬化、女性の目で見ただ出荷包装などで差別化を図り、生産効率を上げ、より安価で安全、美味しい野菜をご家庭の食卓に届けることです。

今は、春のほうれん草の出荷時期、きれいに作付けされた畑に元気に育っていました。もう少し気温が上がると、小松菜・生姜・ネギ・オクラ・枝豆の栽培が始まります。また、ビニールハウスには、今年初めて試作した、「紅はるか」の干し芋も並んでいました。

近々の目標は、耕作面積を更に増やしたいとのことですが、そうなると農業に関心がある女性の協力者が欲しいそうです。女性であることが条件で、お2人の活動に関心ある方は城里町社会福祉協議会へご一報下さい。

また、ネギ皮むき機を探しています。



1月26日(火)つくしの仲間たち8名と職員で常陸大宮市のカラオケ店に行ってきました。11時頃には皆が揃い、自分の好きな歌をそれぞれに歌い、新年会も最高潮です。お昼にはドリンクバーを利用して、ケンタッキーを皆で食べました。僕は声が出なくて歌えないけど、リクエストした曲を皆が合唱してくれました。

仲間が僕の隣に来てくれて、一緒に歌ってくれました。とても嬉しかったです。

毎回自分はカラオケに来る意味がないのかなって考えてしまいますが、こうして皆と一緒に歌ってくれることで励みになっています。

このカラオケ店は、持ち込みも出来てすぐく気に入っている



つくしの仲間と加藤直さん(右はじ)

のですが、ただ障害者用のトイレがないので不便です。受付でその話をしてきましてので、今度行った時にトイレが出来ていることを期待しています。

カラオケもトイレもそうですが、自分が発信していかないとは気付いてくれない。これからもっと自分の気持ちをちゃんと伝えられるようにしていきたいです。

(加藤直)

在宅福祉サービスマンセンター茨城県連絡会 協力会員研修会
情報交換し地域に役立てる

平成27年度の在宅福祉サービスマンセンター茨城県連絡会協力会員研修会が3月5日(土)コミュニティセンター城里で行われました。午前中は研修室で茨城県連絡会に加盟している石岡



研修会の様子

市、つくば市、五霞町など各地から集った協力会員約50名が、それぞれ家事援助、子育て、移送など6グループに分かれて情報交換を行いました。簡単な自己紹介のあと、各地域での良かった点、困った点などを活発に話し合い、お互いに今後の

活動の参考にしていました。

午後はホールへ移動し、

一般の方々と共に講演会に参加しました。永山連絡会会長の挨拶のあと、上遠野

町長は、城里町は茨城県で一番健康診断受診率が高い

こと、犯罪が少ないことなどをあげ、元気な高齢者が

多い実態を誇らしく思うと挨拶されました。

講演の前にアトラクションがあり、はじめに城里町

シルバリーハピリ体操指導士会による体操や発声練習

がありました。次によさこ



全員でシャケサンバ！！



講演する千代 京氏

い踊りで、縁結・同心會、雅華組がそれぞれ踊り、最後に全員で舞台狭しと熱く「シャケサンバ」を踊りました。

続いて講演に移りました。

テーマは「困った時はお互いさま」で、千代京氏(ほ

つとパール・かさま 会員部会長)によるお話がありました

した。笠間市在宅福祉サー

ビスセンターの取り組み、特に「自分たちの住むまち

を自分たちの手で、住み続けられるようにしたい！」

という、住民の思いを形にした、住民自身による地域

福祉活動の様子についてお話がありました。

最後に質疑応答がありました。

風船のお手紙

昨年(10月3日(土))群馬県太田市にある「いなり幼稚園」で運動会が開かれま



青空に浮かぶ「風船のお手紙」

した。演目の中の「風船のお手紙」で、園児たちが風船に手紙を付けて、拾って貰えるように願いを込めて青空に飛ばしました。

風船を飛ばしてから18日後、太田市より90km離れた

下青山で、綿引克己さんが自分の田んぼに赤い風船が

落ちていたのを見つけた。風船の下には、小さく

折りたたんだペンぎん組の園児からの手紙があり、「こ

れを拾った方はお手紙をください」と書かれてあり、

奥様の勝枝さんがいなり幼稚園に手紙を送りました。



お礼のお手紙にニッコリの綿引ご夫妻

送った手紙のことを忘れかけた頃、いなり幼稚園からお礼の手紙が届きました。手紙には、園長先生やペンぎん組の先生からの温かい感謝の言葉がありました。さらに、勝枝さんの手紙を園児達に読んであげたら、とても喜んで、遠い所まで飛んで行った事に驚いていましたと書かれてあり、園児達の驚いた顔が目には浮かぶようでした。またお礼にと、ペンぎん組の全員が描いてくれた絵も同封されていました。

群馬県から風船が90kmも飛んだのは、手紙を拾ってくれる優しい人を探していたからかも知れませぬ。



大正琴の演奏

者挨拶のあと、上遠野町長は「介護保険料が県内でも安いのは、町の高齢者の方々が元気だからです。一人でも多くの高齢者がこのよ
うな会に参加し、いつまでも元気でいて頂きたい」と挨拶されました。
トップバッターは下町長寿会の綿引二三さん。張り

第10回城里町高ク連
(高年者クラブ連合会)
芸能発表会
～日々の練習で元気に～

毎年恒例の高ク連芸能発表会が2月20日(土)午前10時からコミュニティセンターで開催されました。
興野高ク連会長による主催



梅の小枝をもってさわやかに

のある声で歌謡曲をうたい場内を沸かせました。その後、舞踊や大正琴、歌謡曲民謡など日頃の練習の成果が次々と発表されました。

磯原節を唄った小林勝夫さん(高根長寿会)は、「民謡はまだ年月が浅いですが、詩吟は10年程やっています」と語るだけに77歳とは思えぬ伸びやかな声でした。さらに「友達も増えたいし、健康にも良いですよ」と元気に笑顔で語っていました。
今年10回目ということもあって、出場者は皆さん張り切っていました。

ボランテニア紹介
沢山学区「子どもの安全見守り隊」

青少年健全育成城里町沢山学区の「子どもの安全見守り隊」は、平成25年9月に発足し、昨年度ボランテニア登録をしました。

現在、日本各地で児童の登下校時の交通事故や、不審者による痛ましい事件が後を絶ちません。将来を担う児童の安全確保のため、地域をあげての取組みは大切な活動となっています。

活動時間は児童の登下校時間とし、その活動内容は、学校から支給された「黄色いベスト」を着用し、通学路に出る、気をつけてなどの声かけをし、児童の安全を見守ります。黄色いベスト姿の隊員が地域の中を歩くことは、防犯の効果も期待されています。

また隊員の方々には、無理のない範囲で効率的な活動を行う目的から、メール配信サービスに登録して頂き、下校時間の緊急変更や、不審者の情報も即座に届けられます。



子供たちの安全のために

平成27年9月には沢山学区の集会を実施しました。その中で地元警察の方から沢山学区及び周辺地域の現状などの話があり、改めて「見守り隊」の必要性を感じました。

現在、本活動に賛同して頂いている隊員数は50名を超えました。絶対に大丈夫、起こるはずがない、うちの子に限って、このような言葉に疑問を感じる昨今です。保護者は勿論のこと、「子どもたちの安全見守り隊」は児童たちの行動を予測し、危険をなくすことが大切と考え、日々活動しています。

「ホロルの湯」の桜

寒かった冬が過ぎ、春風が暖かく変わると、いつもの見慣れた景色が少しずつ桜色に彩られて、春本番の桜の季節になります。

城里町健康増進施設「ホロルの湯」でも、道路面や駐車場には八重桜が、遊歩道にはしだれ桜が咲き始めて、敷地内が華やかな桜色に彩られて行きます。

青空の下で眺める桜の花は美しく、春風にゆれる姿は、来場されたお客様に「いらっしやいませ」とお出迎えをしているようです。



満開に咲く八重桜と右奥のしだれ桜

4月3日(日)、「第1回ホロルの湯さくらまつり」が開かれました。

手話を学ぶ

⑩ 学校

暖かい春の陽射しの中で花々は咲き誇り、新年度が始まりました。今回は学校に關係のある手話を学びたいと思います。

「学校」

手のひらを上に向けた両手を並べ軽く2回下げる。
(授業・勉強・学ぶ)も同じです。



「先生」

この手話は「教える」と「男」または「女」の2つの手話を使います。
① 教える
右手の人差し指を横に向け2回下に振る。(教育・指導)も同じです。



② 男

親指を立てる。(男性教師)

③ 女

小指を立てる(女性教師)

人差し指を自分の眉間に向けて振ると「教わる」の手話になる。

「国語」

両手の親指を立てて同時に前に出し、下の位置でも同時に前に出す。



「国+言葉」で表す手話もあります。

「算数」

両手の人差し指、中指、薬指を立てて2回ぶっつけ合わせる。



(数・数学・数字・番号)も同じです。

「理科」

両手の指を軽く曲げて胸に当て、左右に引き離す。



(骨も表します)

両手に試験管を持ち、中の液体を交互に注ぐように手を傾ける手話もあります。

「社会」

親指と小指を立てて小指をつけ、手前に円を描いて親指をつける。



「音楽」

両手の人差し指を立てて向かい合わせ、腕を左右に振る。



(コンサート・指揮)も同じです。(すぐに使える手話辞典6000より引用)



2つの四字熟語が文字の順番を変えることなくミックスされています。2つの四字熟語を平仮名と漢字で書いてください。

(シニアレク会館サイトより)

せんざいいちぐう じゅうおうむじん
千載一遇 ・ 縦横無尽

(例題)せじゅんざうおいいいうむちじぐうん

- ① こしはるきいっぴよてんり
- ② いじゅちうにごんといいちえろ
- ③ はてんんしんぺんはんちぎい
- ④ ゆうせげんんさじばっこんべうつ
- ⑤ でゆんこだんうたせついできか

答えは8ページ

わが町のさわやか元気さん 38

仲田 次男さん 97歳
房子さん 95歳
阿波山

次男さんは房子さんと昭和18年11月に結婚され、その1年後招集されて南方に送られました。

昭和20年8月終戦となりオーストラリア軍に収容されましたが昭和21年に帰国しました。3人の子供さんに恵まれ地元の農業協同組合に勤務し、農業の推進に

江島キクノさん 91歳
錫高野

大正14年4月生まれのキクノさんは91歳、息子さん



励み又国勢調査員として地域に貢献されました。

房子さんは看護師と保健師の資格を持ち、桂村役場に保健師として勤務し、地域の人達の健康管理に寄与されました。

次男さんの趣味はゲートボール・野球・ゴルフ・相撲・サッカー等スポーツの観戦です。房子さんは、花の栽培、読書、絵手紙の作成、観劇等です。多趣味なお2人

ご夫婦と同居しています。ご主人はキクノさんが35歳の時に亡くなられました。当時の農業は手作業でしたので、まわりの皆さんの助けにより乗り切る事ができたそうです。

視力も聴力も不自由なく足腰もしっかりしています。これまでも1度の入院もなく、元気に過ごして来られたそうです。

朝食は7時、家族3人で

にとって今一番嬉しいのは子供達が元気で、孫や曾孫の成長を見られることです。現在はお2人で施設に入り、出来ることは何でもやって元気に暮らしています。



食卓を囲みます。お嫁さんの作る手料理が楽しみです。特に肉料理が美味しいとのことです。

キクノさんは新聞の全頁を時間をかけて読みます。毎日の仕事は草取りと豊富な種類の野菜作りをしています。季節ごとに庭の樹木の剪定もしています。

毎日元気に働いているキクノさんの畑は、ホッコリとした土の香りがします。

【平成28年度】 心配ごと相談のお知らせ

家庭内の心配ごとでお悩みの方に無料で問題解決のお力添えをいたします。

なお、全ての相談日で弁護士が来所し、法律相談を実施しております。
秘密厳守となっておりますので、お気軽にご相談ください。

開設時間 午前10時から正午まで

開設場所 コミュニティセンター 城里1階 サークル室

その他 相談日当日は、必ず関係資料をご持参ください。相談件数が多い日には、その日の相談ができない場合があります。また、事前にお電話でのご予約をお願いいたします。毎回弁護士1名、相談員1名が対応。

日	程
4月 6,20	10月 5,19
5月 11,25	11月 9,30
6月 8,22	12月 7,21
7月 6,20	1月 11,25
8月 10,24	2月 8,22
9月 7,21	3月 8,22

全ての日程が、水曜日になります。

【ご予約・問い合わせ】

029 288 7013
城里町社会福祉協議会

目次

- 1 子育て支援促進事業
- 2 予算・事業計画
- 3 赤い羽根募金
- 4 きらっと生きる
- 5 つくしの四季
- 6 在宅福祉サービス研修会
- 7 風船のお手紙
- 8 高齢者クラブ芸能発表会
- 9 ボランティア紹介
- 10 しるさく
- 11 手話を学ぶ
- 12 脳トレ
- 13 わが町のさわやか元気さん
- 14 心配ごと相談のお知らせ
- 15 目次・編集後記

編集後記

あちこちで桜の花が風に吹かれて舞っている。校庭ではピカピカの1年生を迎え、公園や山河では花見の人達の心を癒す。時には人との出会いと別れを演出し、めでたい席では桜湯として重宝される。また突然の花散らしの雨に耐え、穏やかな日には花吹雪となつて散り行く。桜がいかにか我々の身近にあつて誰からも愛されているかがわかる気がする。「かざぐるま」もかくの如くありたい。